

# 50周年を迎えて・・・

およそ五十年前の大嘗地小学校は、現在遊具がある場所にあり、木造平屋で一学年一クラス三十人弱、トイレは男女共同の一つのみで、男子トイレは丸見えてした。体育館は、とても立派で、グラウンドを挟んで中学校があり、現在の小学校の建物はありませんでした。

記憶が定かではありませんが、私が五年生になってから給食が始まりました。一年生から三年生までは、アルミ製のお弁当箱にご飯を詰め、その上に梅干しがのり、たくわん、焼き魚、納豆などが入っている人が多く、全員がお弁当箱を開けたらおかずの匂いで教室中が臭くなりました。ご飯が固くなってしまつので、石炭ストーブの周りでお弁当を温めていました。完全に給食になる前に、かんぱんとスキムミルクが出てきました。五年生からの給食は、全く味のないパン、三角の牛乳パック、おかずは少しでした。普段は質素でしたが、クリスマスの時は直径約十センチメートル位のホールケーキを一人一個もらえました。

当時の先生は男性より女性の方が怖く、宿題を忘れた、遅刻したなどすると、マジックペンで顔に×印を書かれたり、指差し棒で叩かれたりしました。ヤナギの棒で叩かれた時はとても痛かったです。高学年で担任が男の先生になり、とても安心したものでした。怖かった先生方でしたが、同窓会がある時には、一緒に楽しい時間を過ごし、思い出話に花を咲かせました。

特に心に残っていることは運動会です。小中学校合同のため二百人程が集まり、屋台で売られていたバナナがとてもおいしかったことを覚えています。当時、バナナは大変貴重でその時しか食べることができなかったのです。

大変だったことは大掃除です。ブラシはなく、つくしの莖の部分を大掃除までに各自で採取し、それを丸めてブラシ代わりに床を磨きました。

現在のようにおもちゃやゲームがなく、自然の中で自然のものを使い、自分たちで遊び方を考えていたことが楽しい思い出となっています。

卒業生 吉村 進

## 旧大嘗地小中学校



昭和39年度入学生の進さんと

令和4年度入学生の優輝さん



2022年の運動



2010年の運動会



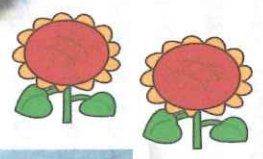


☆ ☆

# 合同運動会

## 6/13

☆



変身して～  
はい、ポーズ!



## 大接戦!!



今年度は全校生徒11名。保育所のお出し物以外はフル出場な子供達。少しでも運動会が盛り上がりた！と毎年頑張って参加してきた親子競技ではありましたが、今年は辛かった～。6世帯となった今、誰も逃げ道はありません！『大縄跳び』では、回すか跳ぶか。跳ぶ事を選んだものの、心は跳んでいるのに身体は跳べていないという悲しき現象。ママはもう跳ばない方がいいかもね～と子供から劣いの言葉を頂きました。別競技、『大切に運べ 子は宝!』では、子供をおんぶして走ったり、タイヤに乗せた子供を引っ張ったり、一生懸命走るお父さん達。「いつの間にか、こんなに大きくなってたんだな」と映画のワンシーンのような一言。子供の成長を肌で感じている姿が、とても印象的でした。中学生になったら、この様な親子の関わりは、したくても出来なくなるのかと思うと寂しいですね。子供達の成長に反比例する親の体力ではありますが、我が子卒業まであと4年、筋トレして体力をつけて、最後まで親子競技を頑張りたいと思います!

山崎 桃子

今年も頑張りました!  
親子競技!!!

# 親子レク 《雪像づくり》

2/23



お天気に恵まれ  
楽しいひとときでした♪



2年前に計画した時から親子と教員の皆で雪像を作るイメージを思い描き、楽しみにしてきました。天候にも恵まれ、皆さんの生き生きとした制作姿を目にした時、久しぶりに大人と子供が同じ目線で同じ目標に向かって取り組む一体感やひとつの物を完成させる達成感と楽しさを実感できました。33年前に同じ場所で作った私にとって大切な思い出が蘇り、子供達と新たな思い出作りにもなった事がとても幸せだと感じました。

大嘗地っ子の先輩として、足寄町の厳しい冬を楽しみに変えるたくましさをお子さん達に伝えられたのであれば、この上なく嬉しい限りです。

兼古 照夫

## あとがき

平成 25 年に入会した PTA 活動も 10 年を迎え、いよいよ卒業を迎えることとなりました。多くの先生方、諸先輩に出会えたことで、子供だけではなく親も成長することができたと思います。

「こもれび」は、コロナ禍の中、PTA 活動が制限され、皆様に報告・発表することが少なくなりました。次年度以降、会員数減とはなりますが、より良い活動ができ、誌面が賑わう事を切に願う、そう思うこの頃です。

佐藤 誠司

